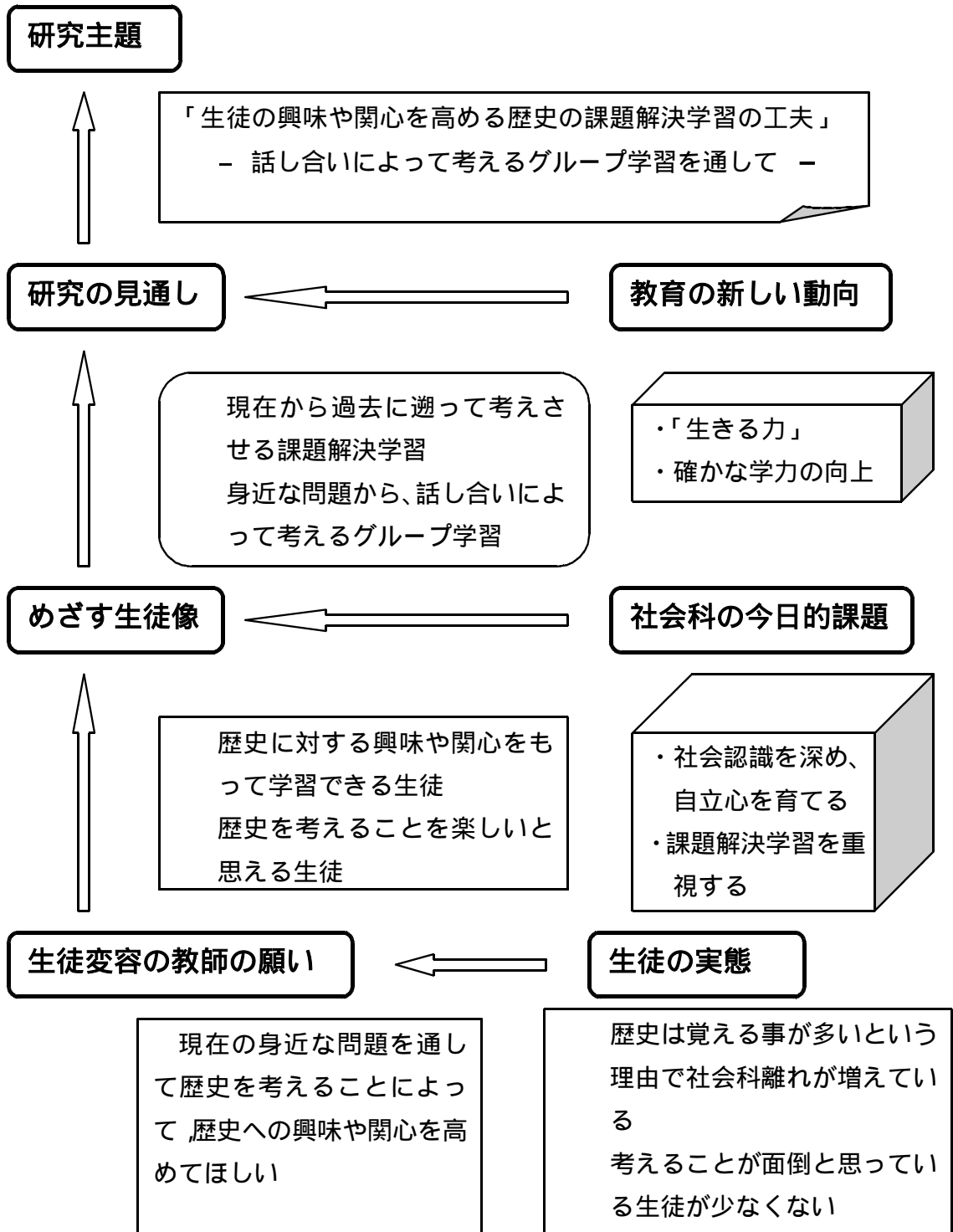


資料編 目次

全体構想図	-----	2
授業の導入段階で継続的に行う学習(小テーマ)		
1 評価カード A	-----	3
2 教師による評価カード	-----	3
3 小テーマを蓄積した表	-----	4
現在から過去に遡って考える学習(大テーマ)		
1 評価カード B	-----	5
2 単元指導計画	-----	6 ~ 7
授業実践の記録		
1 小テーマを使った学習指導案 (一部抜粋)	-----	8
分析資料		
1 小テーマによる抽出生徒の深まり例	-----	9 ~ 10
2 小テーマ学習における生徒の感想より	-----	11
3 大テーマによるグループ活動の感想例	-----	11

全体構想図



授業の導入段階で継続的に行う学習(小テーマ)

1 評価カードA

評価カードA(小テーマ)		
【 単元名	】	
月 日	氏名	
テーマ		
仮説		
感想		

2 教師による評価カード

小テーマ編

出席番号	テーマ		月 日	
	取り組む意欲	深まり	取り組む意欲	深まり
1	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
2	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
3	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
4	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
5	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
6	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
7	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C

短い時間の中で、しっかり考えようとしているか。

大テーマ編

グループ 番号	テーマ		月 日	
	話し合いへの参加意欲	深まり	話し合いへの参加意欲	深まり
A - 1	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
A - 2	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
A - 3	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
A - 4	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
A - 5	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
B - 1	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C
B - 2	A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C

自分の考えをしっかり持ち、話し合いに参加しているか。

3 小テーマを蓄積した表

	2年B組	小テーマの蓄積と深まりの評価						
番号	ゆなせ、第一次世界大戦に参加したのが、	ゆなせ、第一次世界大戦で一勝国になれたのが、	ゆなせ、民主主義を民主主義といっただのが、	ゆなせ、大正時代は大衆化された文化といわれたのが、	ゆなせ、日本は戦争への道を歩んでいったのが	ゆなせ、貴族は貴族などのスローガンが強調に貼られたのが	ゆなせ、日本はドイツやイタリヤと同盟を結んだのが	ゆなせ、アメリカは原子爆弾を投じたのが、
1	戦争に勝つとお金がもらえる	戦争に勝ったから	変わったから	わからない	戦争に勝ってお金がほしかったから	自慢したかったから	わからない	わからない
2	列強に出遅れず、戦争での利益	戦前所で千両を大量に生産できた	国家の主体は人民と認識されやすい	欠席	軍需の増産	物がないから、国民のやる気を出させる	平等的に同じ考えの国で心強い	なかなか格式しないしげねを知らした
3	強い人が勝ると思ったから	日本が強い	欠席	いろいろなことが多くの人に定まった	富と権力と地位がほしかったから	欠席	なんとなく勝んだ方が良いと思った	勝つため
4	仲間を作るため	強かったから	すべてが人民中心と思いたい	大正デモクラシーの影響	顔がくるって来たから	兵隊の方にお金を貰やす	考え方が同じだった	戦争を終わりにしたかったから
5	戦争で権力を高め、他国に知らしめる	色々な国の文化を輸入していった	自分で決めた	わからない	自分で選んで勝つと強かった	兵に与える金や物が多くはなっていたから	強国より強くなりたかった	戦力が揃えば 後が大変だから
6	世界に挑戦してみたい	日本が強い	一般国民のため	わからない	日本は強いとみんなが思っていた	戦争に勝って	同じ考えだった	わからない
7	世界で一番強くなりたかった	日本の時代が来た	民主主義に対して他国をこまかすため	わからない	弱さを承けて進出した	戦争で強くなかった	強さを求めたため	戦争を終わらせたかったから
8	植民地が欲しかった	他国が先に戦力を増強していたから	争の無い方だった	他の時代に比べ争いがあったから	勝てる気がした	お金を戦費に使うため	どれも考えが同じだったから	実戦目的、戦争にけりをつけるため
9	武器を売りあげけが出来た	戦前はヨーロッパ大衆の武器輸出が可	国民の意見を取り入れる政治	大正デモクラシーの考えに反対	ファシズム	戦争以外に使うお金は無駄	金も武器として消費していた	早く戦争を終わりにしたかったから
10	千両ばかり欲しいように	豊島で勝った	天皇中心だから	進んだ文化ができた	お金のため	上層の人が使いたくはなかった	考えの似たもの同士で	人道主義のため
11	強いに勝って西の諸国に勝とう	他国の技術を盗んで勝ったから、	反省をかわないため	わからない	土地が欲しかった	欠席	資源のある国を植民地にしたら良かった	戦争を長引かせないよ様に
12	強いたいと思え	武器の輸出	憲法とかがあり民主主義ではなかった	多くの人がいじめられていたから	戦争をすれば勝てると思っていた	戦争のための準備も少なくなっていた	同じ考えだった	アメリカを尊重したから
13	強いに負けたくない	強国強者の世界で勝てない	人民と大日本帝国の関係をとった	千両が欲しいから	軍人が戦争以外のことを考えなかった	日本がおろかだった	第一次大戦でお金をなくしてしまった	侵略を止め、日本の健全を止めるため
14	欲望	強かった	同じ漢字を二回使うのが嫌いだった	1年しかない時代だから	戦いが好き	日本にお金が取かった	同じ考えだった	アメリカの強さを他国に知らしめるため
15	列強と競争するため	武器輸出と排外主義	また民主の精神ではない	民衆の力と権力の行使に大きな変化あり	自国の力を世界に認めさせる	欠席	ファシズムのような同じ考え方	試して、国力を弱くさせるため
16	日本同盟を結んでいったため	戦争に勝つとお金がもらえる	民主主義とは無関係に思われていた	財閥の成長と財界の広がりのため	勝てば金や権力が得られる	日本の経済がまよっていたから	手を結ぶのは中国が儲かると思った	戦争を終わりにしたかった。国力の強
17	外国からの評価を上げるため	武器輸出で外国に認められる	日本の本を台本させた	大衆に人気があった金や物	自分たちの力を見せつけたかった	金や物が無くなった	強力である	戦争を終わりにして他国に勝たない
18	強土が欲しい、同盟国の獲得	勝てた	日本全体を平等に考えた	西洋風が広がると人々が憧れを感じた	世界の強豪であることをつかむ	戦争のための準備	同じ考えだった	戦争に勝った日本を誇りをもたせるため
19	外国に仲間にならう	勝ったから	同じ意味だから	わからない	勝てば土地やお金がもらえる	強の人の強さを認めていないため	考えが同じだった	争の懸からたまたま立場が見えたから
20	他国との契約	他国と手を組んでいった	民衆を政治に反映させる必要のため	わからない	富と権力を得るため	戦争のための資金にするため	勝つになりそうだから	日本の戦費をそくた
21	勝てば日本の文化を認められる	武器が作られ、他国より発展	憲法が書かれていないから	いろいろなことが多くの人に定まった	強い日本にしたかった	お金がないから勝つためにがんばる	他国より強いつながり強かった	戦争を終わりにしたかったから
22	戦争工部局が起きた	同盟国がギリシヤの勝利	民主主義の方がやりやすい	大正デモクラシーの影響	市民思想の影響が大きかった	戦争に勝つために強いていた	同じ考えだった	日本軍の勢力を弱くさせるため
23	日本は強いたいと思え	強かったから	民衆の上下を区別しないため	人々の人気を集めた	国のために強くなりよくなる	物資が不足していた	考えが同じだった	戦争をやめさせるため
24	日本の強さを試した	強かったから	危険な軍隊と民間を分けよ様に	いろいろなことが多くの人に定まった	強い国にしたかった	お金がないから勝つためにがんばる	強力があった	すべてをなくしてしまおうと思った
25	戦争に勝つとお金がもらえる	どこよりも強かったから	国が中心だったから	わからない	米が日本を苦しめる作戦に出たため	欠席	考えが同じだった	戦争を終わらせたかったから
26	色々な国との親善な理由で、領土	他国と手を組んで、戦費武器の増加	国民が主体になった時代にはない	外国風がよほど人々に浸透した	勝つ事を覚えてしまった	物資の節約に意識させるため	同じ考えで、他国に打ち勝つ	米の国力をわからせて降参させるため
27	同盟に強いたいと思われた	工業で発展した他国の武器も売れた	民主主義の考えが定まった	大衆の新しい文化が入ってきた	何より国のために戦うことが大事だった	戦費にまわすため	強国強国だった	戦争を終わらせたかったから
28	勝つため	日本が強かった	民衆のために	民主主義	国を守るため	甘んじたくはないから	力を強めたため	日本に降参してほしかった

現在から過去にさかのぼって考える学習（大テーマ）

1 評価カードB

	問題検討シート（ ）班	月	日
テーマ			
個人の意見		名前	
仮説			
疑問			
個人の意見		名前	
仮説			
感想			

2 単元指導計画 【東京書籍の教科書使用】

本校の年間指導計画の中に、考えられるテーマを例示する。

(1) 授業の導入部分で扱うもの... 小テーマで行う活動 で示す

(2) 1時間以上かけてじっくり考えさせたいもの... 大テーマで行う活動 で示す

単元名	学習内容	時間	小テーマ、大テーマ
1 第一次世界大戦とアジア・日本	1. 第一次世界大戦と日本	1	なぜ、兵器工場では女性だけが働いているのか。
	2. 国際協調の時代	1	なぜ、日本は第一次世界大戦で一等国になれたのか。
	3. アジアの民族運動	1	なぜ、中国、朝鮮で反日運動がおこっていったのか。
	4. 大正デモクラシー	1	なぜ、「民本主義」という言葉が使われたのか。
	5. 民衆運動の高まり	2	なぜ、婦人解放運動が起こったのか。
	6. 新しい生活と文化	1	なぜ、大正時代の文化は大衆文化といわれたのか。
2 世界恐慌と日本の中国侵略	1. 世界恐慌とブロック経済	1	なぜ、景気が悪くなるのか。
	2. 欧米の情勢と日本	1	なぜ、ドイツ国民はヒトラーを選挙で選んだのか。
	3. 日本の中国侵略	1	なぜ、日本は植民地を必要としたのか。なぜ、国際的孤立の道を選んだのか。
	4. 日中全面戦争	2	なぜ、中国で抗日運動が起こったのか。
3 第二次世界大戦とアジア	1. 第二次世界大戦	1	なぜ、日本はドイツやイタリアと同盟を結んだのか。経済制裁、米国の誤認
	2. 戦時下の生活	1	なぜ、泰緬鉄道の建設工事では多数の死者がでたのか。
	3. 戦争の終結	2	なぜ、アメリカは原子爆弾を使用したのか。 なぜ、中国残留日本人孤児問題が生じたのか。

1 日本の民主化と国際社会への参加	1. 占領と日本の民主化	GHQ による民主化政策と日本国憲法の制定について調べ、戦前と比較しながら相違点を考える。	1	なぜ、天皇は「人間宣言」をしたか。
	2. 二つの世界とアジア	国際連合の誕生と東西冷戦について調べる。朝鮮、中国を中心に戦後のアジアの動きを調べる。	1	なぜ、「冷たい戦争」と言われるのか。
	3. 国際社会に復帰する日本	サンフランシスコ平和条約の意義について、当時の世論を意識しながら話し合う。	2	なぜ、アメリカは日本を国際社会に復帰させたかったのか。 敗戦後の占領下からの関係
2 国際社会と日本	1. 日本経済の発展	日本経済が高度成長を遂げ、国民生活が変化した様子について調べる。	1	なぜ日米貿易摩擦は起こったのか。なぜ、公害の発生は防げなかったのか。
	2. 国際関係の変化	沖縄の復帰と新たな日米関係について調べる。	1	なぜ、日本は新安保条約を締結したのか。
	3. 21世紀の世界と日本	国際社会の中で日本の果たすべき役割について話し合う。	2	日本はどんな国を目指せばいいと思うか。なぜ、そのように考えたのか。

授業実践の記録

1 単元名 「第一次世界大戦とアジア・日本」

2 単元についてのアンケートの結果

	民主主義	大正時代	大正デモクラシー	吉野作造	民本主義	普通選挙
知っている	17	14	1	0	4	4
聞いたことはある	11	12	3	6	7	11
知らない	1	3	25	23	18	14

3 単元についての生徒の実態

アンケートの結果から「大正時代」を言葉として知っているものの、どんな時代であったのか、また、どのようなできごとがあったのかということは理解できていない生徒がほとんどである。「大正時代」に対するイメージとしては「暗い」「短い」「ひいおばあちゃんが生まれた」など、さまざまである。しかし、全体的な傾向として、現在の自分の生活とはあまりかわり合いのないものとして「大正時代」をとらえており、古代、中世、近世等の歴史に比べて、学習意欲が高いとは言えない。

4 本時のねらい

関東大震災の概要と大正期の大衆化された文化について、大正デモクラシーが反映されていることを理解する。

5 展開

学習活動	指導上の工夫と教師の支援	時	評価項目	
1. 本時の小テーマを考え、めあてをつかむ。 【一斉】 2. 関東大震災の概要をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて考えることにより、興味や関心を喚起する。 ・コンピュータで関東大震災のビデオクリップを映し出し、確認させる。 ・震災の混乱の中での虐殺について、当時の人々の立場に立って考える。 	10		
----- <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>大正時代の文化は明治時代と比べてどのような特徴があるのだろうか。</td> </tr> </table> -----				大正時代の文化は明治時代と比べてどのような特徴があるのだろうか。
大正時代の文化は明治時代と比べてどのような特徴があるのだろうか。				
3. 「荒城の月」と「雨ふり」の曲を聴く。 4. 2つの曲の違いを明治時代の文化との比較をしながら発表する。 【グループ】 ・難しい文語体に対して優しい口語体である 5. 大正時代についての取材メモをもとにグループで話し合い、時代背景を発表する。 ・大正デモクラシー 中等教育の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・明治時代の曲と大正時代の童謡との違いを考えさせる。 ・明治期の「荒城の月」の文語体、格調高い歌に比べ、大正時代の童謡は口語体で親しみやすい、庶民的な感じであることに気づかせる。 ・大正デモクラシーの気風が自由な音楽の創造を可能にしたことをおさえる。 ・年表や既習事項をもとに、西洋の近代的な考えに大衆そのものが影響を受ける時代背景であったことを理解させる。 ・ワークシートに記入させる。 ・個別指導を必要とする生徒には資料の年表を参考にするよう助言する。 	20	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に考え、話し合いに参加している。 【関心・意欲】 	
----- <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>なぜ、大正時代の文化は大衆文化といわれたのだろうか？</td> </tr> </table> -----				なぜ、大正時代の文化は大衆文化といわれたのだろうか？
なぜ、大正時代の文化は大衆文化といわれたのだろうか？				
6. その他の大正時代の文化について童謡との共通性をつかむ。 ・大衆化、西欧化	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンなどで、資料を示しながら簡潔に説明する。 ・資料集等で調べ、ワークシートにまとめさせる。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ・必要事項を資料で読みとることができる。 【技能・表現】 	
7 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・都市を中心に発達した「大衆文化」であり、大正デモクラシーの気風が反映されていることを押さえる。 	5		

★評価カードA (小テーマ)

9月21日 氏名

テーマ **なぜ日本は第1次大戦に参加したのか?**

仮説 **日本は、ヨーロッパの領土を手に入れたか、だから参加している国のどれかの後押しをして、もし手伝った国が戦争で勝つことが出来たら、日本が困った時に守ってもらおうと思ったから。**

感想

★学習カードA (小テーマ) ㊦

【新しい生活と文化】

10月18日 B組 氏名

テーマ **なぜ、大正時代の文化は大衆化された文化といわれたのだろうか。**

仮説 **西洋風の生活様式などがたが、物々々の入りが親しみを感じたから。**

感想 **カルピスやフロックなど国民が今も好んで飲食しているものの多くは、大正時代に作られたものだと知って驚いた。**

小テーマによる抽出生徒の深まり例 (B子)

★評価カードA (小テーマ)

9月 21日 氏名

テーマ **なぜ日本は第一次世界大戦に参加したのか?**

仮説 **いろいろな国が関係していたので複雑な理由だと思う。
日本はドイツとイタリアと連合を組んで アメリカなどを倒し、領土などをたくさん手に入れたと思ったため。**

感想 **テーマを考えた後、日本は、どのように参加したのかという、首げいの事情も理解できた。戦争はやはり、いろいろな国や人の争いがあっていると思う。**

★学習カードA (小テーマ) ⑥

【新しい生活と文化】

月 日 B組 番氏名

テーマ **なぜ、大正時代の文化は大衆化された文化といわれたのだろうか。**

仮説 **外国の文化がよびとされ、たくさんの人びとに知れわたったから。
(また外国の考えも入ってきたから)**

感想 **このテーマからも、テーマ④と同じで、この頃の時代がどんな時代かよみとれると思った。この頃に成長してくれたおかげで、今の私達の生活があるのかなと思う。
(欧米の文化や生活を取り入れたため。)**

3 小テーマ学習における生徒の感想より

- ・日本が第一次世界大戦に参加していなければ、今の日本とはまた違った道を歩んでいたかもしれない。日本の分かれ道だったと思う。
- ・確かに戦争に勝てばお金や土地、権力が得られるかもしれないが、その代わりに関係ない人の命や、戦争に出された人の命が失われて悲しい結果になることがわかった。
- ・この時に戦争をしなければもっと平和になっていたかもしれないが、このような戦争を乗り越えてきたからこそ今の日本があるとも思える。
- ・現在の問題から過去にさかのぼって考える学習をしてみて、歴史は過去と現在がつながっていることがなんとなくわかった。
- ・今の時代では戦争のために自分の身を犠牲にするのは考えられないことだと思った。
- ・日本が、戦後一等国になれたのはいいが、そのために多くの犠牲者がいるから、悲惨な戦いは悲しむ人が出るだけでなんの得にもならない。
- ・日本は連合国側の国々と一緒に行動した方がよかったと思われるが、考え方の違いから違う道に進んでしまったのだと思う
- ・このテーマからもこの時代が天皇中心だったことがわかった。デモクラシーの訳しかたで時代背景が分かるなんておもしろいと思う。
- ・こんな時代があったなんて悲しいことだと思う。今はきちんとした法律があり、一人ひとりの権利が守られているのだから、過去の経験から改善されて良かったと思う。
- ・第二次世界大戦のことをあらためて考えさせられた。ドイツやイタリアと手を組んだということはもっと深い理由があったのかなと思った。もう少し調べてみようと思う。
- ・当時の人たちは戦争で食べたいものが食べられず我慢の生活だった。今の私たちは我慢することが苦手なので見習うべき点も多い。

4 大テーマでの授業におけるグループ毎の感想

- A班・なかなか意見が出なかったが、最終的にうまくまとめられたので良かった。
- B班・みんなで話し合うと、考え方の違いなどで意見が合わなくて一つにまとめるのが大変だったけれど、一人ひとりがきちんとした考えを持って話し合ったので良い時間だったと思う。
- C班・自分たちの班の考えと他の班の考えが違ったこともたくさんあった。だから、いろいろな面から課題を考えることが出来た。
- D班・一人ずつの意見がきちんと聞いてよかった。全員がそれなりに考えていた。
- E班・歴史上恨みを持たれるような行為をしたことがわかり、戦争をやめればよかったと思った。